

研究会・シンポジウム報告

2023年9月16日（土） 定例研究会報告

テーマ： 「おいしいのに安い」を伝える戦略的コミュニケーション戦略

報告者： 株式会社シャトレゼ・株式会社シャトレゼホールディングス
広報室 室長 中島 史郎 氏

時間： 9月16日（土）15時30分～17時30分

場所： 専修大学神田校舎7号館781教室

参加者数：7名（対面4名、オンライン3名）

報告内容概略：

株式会社 シャトレゼの経営理念、経営戦略、広報戦略の方針と実践についてご講演いただいた。同社は、創業1954年、山梨県甲府市に本社を置く菓子会社である。シャトレゼグループ会社共通の経営方針は、「プレミアム品質の商品・サービスを、手の届く価格でひとりでも多くのお客様にお楽しみいただくこと」である。

同社は、過去10年間、売上・店舗数において拡大を続けている。2013年以降の発展の経過を辿ると、①認知獲得期、②理解醸成期、③親しみ拡散期、④健康安心訴求期、⑤共感創出期と特徴づけることができる。広報についても、各時期に適した広報の考え方を持ち展開してきた。広報では現在も、ブランドビルディングにつながる多様な企画、VI（ビジュアル・アイデンティティ）、情報発信を展開している。そして、お客様や知人の声から体感される反響を何よりも重視している。

同社は、大規模かつ多角的な事業展開にもかかわらず、多くの顧客から高い評価を得ることに成功している。その要因は、大規模な経営戦略においても基本となるのは顧客である「お客様に喜ばれる経営」をめざすという方針にあると受け止めた。また、同社の地域貢献・地域連携の取組みについても詳しくご紹介いただいた。それにより同社の経営を、地域に根ざした世界企業のビジネスモデルとして理解することができた。

記：専修大学経済学部・河藤佳彦